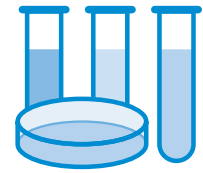


細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

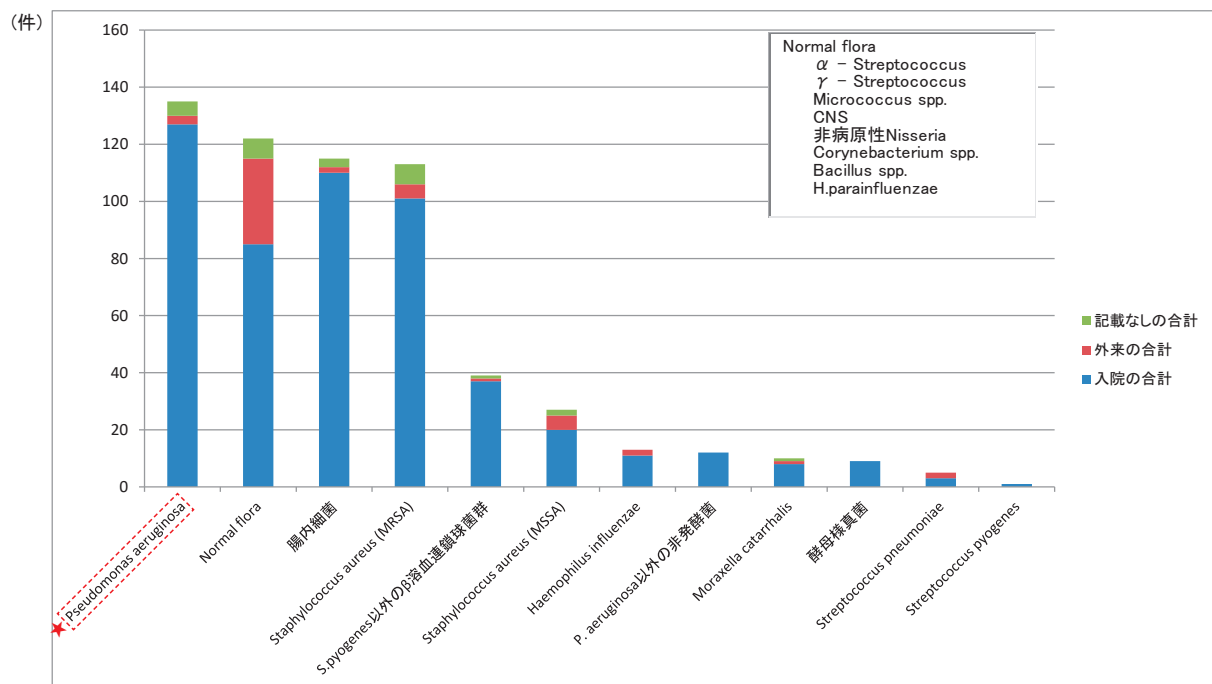


当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況及び細菌薬剤感受性情報を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は、喀痰の細菌検出状況と、薬剤耐性菌分離状況を掲載いたします。

【細菌検出状況】

【喀痰】細菌検出状況 2020年11月



2020年11月の喀痰の細菌検出状況では、*Pseudomonas aeruginosa* が1番多く検出されています。

Pseudomonas aeruginosa は、水周りや患者の臨床材料、カテーテルなど医療器具が主な汚染源となり、医療従事者の手指などを介した院内感染を起こす重要な菌です。健常者には通常病原性を示しませんが、感染防御能が低下した易感染者や高齢者に、呼吸器感染症、尿路感染症、菌血症や敗血症などを引き起こします。

【薬剤耐性菌分離状況】

2020年11月分

耐性菌名		呼吸器系		消化器系		泌尿器系		血液・穿刺液系		その他(膿など)	
		耐性率(%)	件数	耐性率(%)	件数	耐性率(%)	件数	耐性率(%)	件数	耐性率(%)	件数
ESBL(基質特異性拡張型β-ラクタマーゼ産生菌)	Escherichia coli	50%	16	8%	4	28%	110	62%	8	52%	11
	Klebsiella pneumoniae	16%	8	0%	0	21%	16	50%	1	80%	4
	Proteus mirabilis	92%	11	0%	0	44%	14	20%	1	17%	1
	Klebsiella oxytoca	0%	0	0%	0	33%	5	0%	0	0%	0
CRE(カルバペネム耐性腸内細菌科細菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
MDRP(多剤耐性緑膿菌)		0.67%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
MBL(メタロβ-ラクタマーゼ産生菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
MDRA(多剤耐性アシネトバクター)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌) ※1		62%	153	38%	12	40%	12	45%	5	26%	80
PRSP(ペニシリン耐性肺炎球菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
VRE(バンコマイシン耐性腸球菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
BLNAR(β-ラクタマーゼ非産生アンピシリン耐性H.influenzae)		8%	11	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
BLPAR(β-ラクタマーゼ産生アンピシリン耐性H.influenzae)		3%	4	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
BLPACR(β-ラクタマーゼ産生アモキシシリン・クラバン酸耐性H.influenzae)		2%	3	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0

耐性率 = (材料別耐性菌件数) ÷ (材料別対象菌件数) × 100

※1 耐性率 = (材料別 MRSA 件数) ÷ (材料別黄色ブドウ球菌件数) × 100

2020年11月は呼吸器系材料から MDRP (多剤耐性緑膿菌) が 1 件検出されています。
Pseudomonas aeruginosa は広範な抗菌薬に自然耐性を有する細菌ですが、本来有効だったカルバペネム系薬、ニューキノロン系薬、アミノグリコシド系薬の 3 系統の抗菌薬に同時に耐性を示す MDRP の出現が近年問題となっています。

感染症法で五類感染症定点把握疾患に指定されており、指定医療機関においては発生状況の報告が義務づけられています。

当検査センターホームページでは細菌検出状況(検査材料別)、細菌薬剤感受性情報(菌種別)、薬剤耐性菌分離状況情報についての情報をご覧ください。 <http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>

検査科微生物係